VOLUTE™ VOLUTE DUO™

上下水処理施設・集落排水施設向け

汚泥処理関連装置 製品カタログ

PRODUCT CATALOG

Amenity Convenience AMCON®

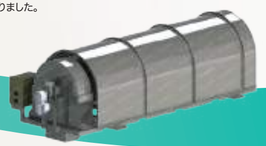
私たちの仕事は「世の中のあらゆる施設・設備に一歩進んだ快適便利を提供する」こと

1991年、およそ10年の開発期間を経て完成させた革命的汚泥脱水機「ヴァルート」の販売を開始。汚泥脱水機の現場に携わる全ての人に、快適便利な装置を提供したいという思いが結実した瞬間でした。この発明は「多重板型スクリュープレス」という汚泥脱水機のひとつのジャンルを築き、同方式を世界中に広めました。私たちは、あたり前の脱水性能だけではなく、ご利用いただくお客様の快適便利を追求してまります。



2001
汚泥脱水機「ヴァルート™」ECシリーズ

TSシリーズの汚泥調整槽の材質を鉄からステンレスに変更することで耐久性の向上と低価格が実現。ロングセラーモデルとなりました。



2003
汚泥乾燥機「ソラピー」

脱水汚泥を乾燥することにより、汚泥量が減り、汚泥処理コストを大幅に削減しました。



1997
汚泥脱水機「ヴァルート™」MSシリーズ

日本下水道事業団との共同開発で世界で初めてOD反応槽の汚泥を直接脱水することに成功しました。



1996
汚泥脱水発酵システム「デルコンポ」

汚泥を減容するだけではなく、活用することへ挑戦し、汚泥の脱水から発酵までできるシステムを開発しました。汚泥のゼロエミッションと地産地消を実現しました。



1992
汚泥脱水機「ヴァルート™」TSシリーズ

汚泥調整槽（汚泥サービスタンク）を脱水機と一体化するという斬新な発想で高いSS回収率が得られ、汚泥処理効率が大幅に向上しました。



1991
「ヴァルート™」

電車のつり革から着想を得て、積層したリングにスクリューを通した「多重板型スクリュープレス」を開発。世界で初めて「洗浄水の要らない」汚泥濃縮機・汚泥脱水機を実現しました。



1982
「アムコン濃縮機」KMシリーズ

ろ布による重力濃縮とクサビ作用による絞り機構を採用した汚泥濃縮機を開発。コンパクトなサイズで手頃な価格を実現。主に団地の集合浄化槽に納入されました。

VOLUTE™ & VOLUTE DUO™



2004
「ツインヴァルート」TVシリーズ

汚泥以外のし渣、野菜くず等、固形物の脱水用として開発しました。現在はプリント基板のドライフィルムレジスト剥離カスの脱水用として活躍しています。



2004
汚泥脱水機「ヴァルート™」ESシリーズ

ECシリーズよりも低価格の代替品として販売。ベーシックモデルとして大規模処理のラインナップを増やし、世界中に展開しました。



2016
汚泥脱水機「ヴァルート™」GSシリーズ

ベストセラーのESシリーズをベースに濃縮機付き凝集混和タンクを搭載し、処理能力が大幅に向上しました。



2018
汚泥脱水機「ヴァルート™」DWシリーズ

MSシリーズをベースに多くの新機能を搭載しました。処理能力が向上し、設備規模の縮小化によるライフサイクルコストの削減が可能になりました。



2021
ヴァルート進化系モデル汚泥脱水機「ヴァルートデュオ™」HRシリーズ

高い脱水性能を長期間維持し、汚泥処理にかかるコストを削減しました。繊維状物質や無機分の多い汚泥など従来機では難しかった汚泥にも対応可能となりました。



2019
汚泥脱水機「ヴァルート™」FSシリーズ

ESシリーズのシンプルな構造に加え、操作盤をタッチパネルに改良しました。また脱水処理が滞る過負荷停止を未然に防ぐ、安全運転支援制御VASを搭載。使い心地のよさを追求しました。



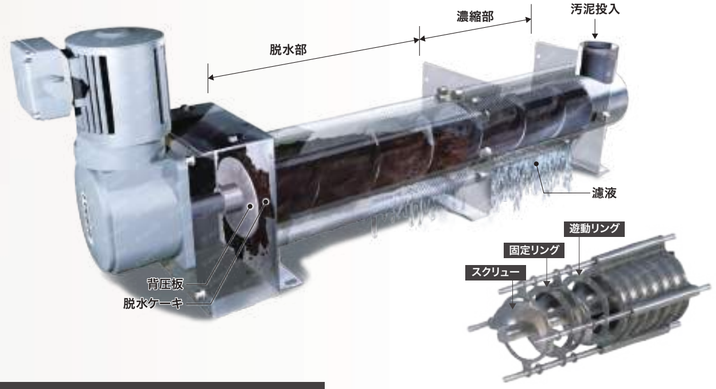
2019
汚泥脱水機「ヴァルート™」MWシリーズ

混合生汚泥用として開発。供給汚泥の濃度変動に対応した自動制御機能で安定運転を実現しました。

ほかとは違う
汚泥脱水機「ヴァルート™」

目詰まりしないセルフクリーニング機構

4か所を固定したリング（固定リング）と上下に動くリング（遊動リング）を隙間を保って交互に積層した濾過体に、汚泥の搬送と圧密を担うスクリューを1本通した構造です。スクリューが一定速度で回転しながら遊動リングと接触することで遊動リングが動き、濾過体の隙間を清掃するため、目詰まりを起こさないセルフクリーニング機構。安定した脱水性能を発揮します。目詰まり防止のための洗浄水も、他方式の脱水機と比べてごく少量です。

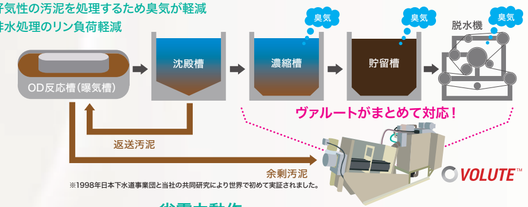


低濃度汚泥も脱水可能

濃縮と脱水の2つの工程を1つの濾過体で処理する一体構造のため、TS0.2%程度の低濃度汚泥でも、前段に濃縮設備を設けず直接投入が可能です。濃縮設備と貯留設備の建設コスト・運転コストを削減できるほか、好気性汚泥を脱水するため臭気が軽減します。また、余剰汚泥中のリンを効率よく脱水ケーキ側に回収できるため、排水処理にリンが戻ることによる負荷が軽減します。日本では、小規模下水処理施設に適した汚泥処理方法としてヴァルートによるOD反応槽（曝気槽）直接脱水法が多く採用されています。

OD反応槽直接脱水法のメリット

❶建設コスト・運転コストの削減
❷好気性の汚泥を処理するため臭気が軽減
❸排水処理のリン負荷軽減



※1998年日本下水道事業団と当社の共同研究により世界で初めて実証されました。

低騒音・低振動

高速回転体を持たないため、騒音や振動の心配が全くありません。騒音によるストレスを感じることもありませんし、機械設置に伴い遮音対策を施す必要もありません。また、大きな振動もないため、機械設置時に床の振動対策工事も不要です。快適な作業環境の確保が可能です。

簡単操作・簡単メンテナンス

各種センサーを用いた自動運転制御により、24時間全自動無人運転が可能です。人手による始動や停止などの操作は必要ありません。また、日常のメンテナンス項目も少なく、難しい操作も必要ありません。また、特別な知識や熟練の技術を必要とせず、どなたにでも簡単にお使いいただけます。

省電力動作

濾過体を通るスクリューは、1分間に約2～4回転という極低速で動作するため、電力消費が極めて少なく経済的です。

節水設計

独自のセルフクリーニング機構で濾過体の目詰まりを防止するため、目詰まり防止のために大量の洗浄水を使用することがありません。処理能力45kg-DS/hのベルトプレス脱水機と比較した場合、洗浄水量は約1/90、スクリュープレス脱水機との比較でも約1/10です。

2年保証&アフターサービス

全製品に2年保証が付帯。最大4年までの延長保証オプションもご用意しております。
快適便利に使い続けられるようなアフターサービスを提供してまいります。

維持管理性向上

万が一内部に汚泥が詰まった場合などの異常時にも、スクリューを装置外へ引き抜くことなく汚泥の除去が可能な構造のため、運転復旧のための作業時間を削減し、汚泥脱水機を停止させる時間を短縮します。



優れた拡張性

ヴァルートはシリンダーユニットの増設が可能です。「将来的な汚泥発生量の増大に備えたいが初期費用は抑えたい。」というご要望にお応えします。



シリンダー追加（イメージ）

OD法下水処理施設向け
日本下水道事業団 標準仕様品

汚泥脱水機ヴァルート™ MSシリーズ

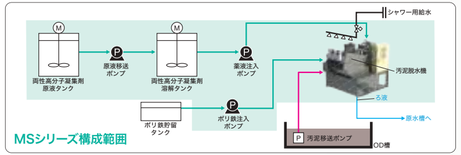
多重板型スクリュープレス脱水機

OD法のOD槽引き抜き汚泥対象。1998年、日本下水道事業団と当社の共同研究により、OD反応タンク内汚泥の直接脱水法を世界で初めて実証しました。

標準処理量・仕様一覧

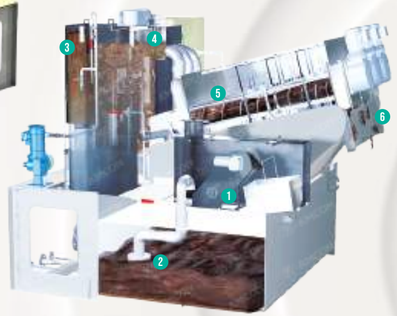
型式	標準処理量 (kg-DS/h)	機械寸法(mm)			総電力 (kW)	重量(kg)	
		L	W	H		空	運転
MS-201	7	2661	1640	2405	2.125	930	2200
MS-202	14	2661	1940	2405	2.325	1230	2700
MS-203	21	2661	2240	2405	2.925	1530	3300
MS-204	28	2750	2040	2405	3.925	2000	3500
MS-205	35	2750	2340	2405	4.125	2300	4100

※処理量は汚泥濃度TS0.2%～0.3%の場合に、ポリ鉄と両性高分子凝集剤添加による脱水ケーキ含水率83%時の標準値です。
※上記記載処理量は目安です。汚泥性状によって異なりますので、機種選定の際には当社までお問い合わせください。
※上記仕様は本体のみの仕様です。付属品は含まれておりません。
※上記データは標準仕様に基づいたデータであり、仕様は予告なく変更する可能性があります。最新の仕様については当社までお問い合わせください。



MSシリーズ構成範囲





機内処理フロー



1 自動スクリーン
汚泥に含まれる夾雑物をスクリーンで除去します。



2 汚泥サービスタンク
脱水処理を行う前に一時的に汚泥を貯留するためのタンクです。汚泥サービスタンク付きモデルは、95%以上の高い固形物回収率を実現。必要に応じて無機系凝集剤の反応タンクとしても利用可能です。



3 計量タンク
汚泥を一定量に計量し、余剰分は汚泥サービスタンクへ戻します。



4 凝集混和タンク
注入した高分子凝集剤と汚泥を撹拌混合し、ヴァルートに適したフロックを形成します。



5 シリンダーユニット
汚泥は、前段の濃縮部で更に濃縮され、後段の脱水部で内圧を高めて脱水します。



6 脱水ケーキ排出口
背圧板によって出口側から更に圧力が加わり、含水率83%以下の脱水ケーキを排出します。

OD法下水処理施設向け
日本下水道事業団 新技術 I類認定

汚泥脱水機ヴァルート™ DWシリーズ

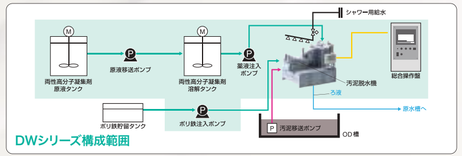
多重板型スクリュープレス脱水機-II-E型

OD法のOD槽引き抜き汚泥対象。従来機MSシリーズをベースに多くの新機能を搭載した上位モデルです。

標準処理量・仕様一覧

型式	標準処理量 (kg-DS/h)	機械寸法(mm)			総電力 (kW)	重量(kg)	
		L	W	H		空	運転
DW-201	14	3415	1930	2080	3.3	1800	3550
DW-202	28	3415	1930	2250	3.9	2000	4000
DW-203	42	4310	2300	2950	6.575	3900	8300
DW-204	56	4310	2300	2950	7.725	4150	9200
DW-205	70	4310	2300	2950	8.125	4400	10000

※標準処理量は汚泥濃度TS0.3%以上の場合に、ポリ鉄と両性高分子凝集剤添加による脱水ケーキ含水率83%時の標準値です。
※上記記載処理量は目安です。汚泥性状によって異なりますので、機種選定の際には当社までお問い合わせください。
※別置の総合操作盤が付属します。
※上記データは標準仕様に基づいたデータであり、仕様は予告なく変更する可能性があります。


シャワー用給水
両性高分子凝集剤 原液タンク
原液移送ポンプ
両性高分子凝集剤 溶解タンク
薬液注入ポンプ
5.0m
5.0m
5.0m

標準法下水処理施設向け
日本下水道事業団 新技術I類認定

汚泥脱水機ヴァルート™ MWシリーズ

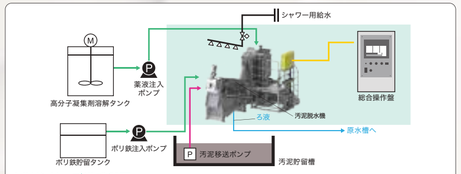
多重板型スクリュープレス脱水機-II-M型

標準活性汚泥法の混合生汚泥対象。最大400kg-DS/hの処理能力を備え、供給汚泥の濃度変動に対応した自動制御機能で安定運転を実現しました。

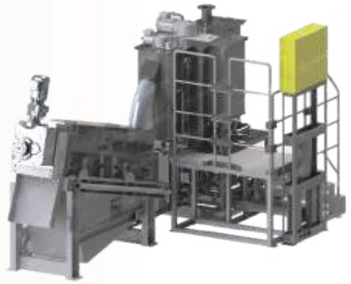
標準処理量・仕様一覧

型式	標準処理量 (kg-DS/h)	機械寸法(mm)			総電力 (kW)	重量(kg)		
		L	W	H		空	運転	歩廊
MW-351	100	5200	2000	2250	2.35	2100	3050	180
MW-352	200	5700	2500	2750	5.3	4100	6600	190
MW-353	300	5700	2750	2750	6.8	5100	7900	200
MW-354	400	5700	3200	2750	8.3	6600	9700	210

※標準処理量は汚泥濃度TS 3.5%程度の場合に、無機凝集剤と高分子凝集剤の2液調質の場合の値です。
※脱水ケーキ含水率は、72%以下です。対象汚泥の繊維状物等の性状により異なりますので、詳細は当社までお問い合わせください。
※上記記載処理量は目安です。汚泥性状によって異なりますので、機種選定の際には当社までお問い合わせください。
※別置の総合操作盤が付属します。
※上記データは標準仕様に基づいたデータであり、仕様は予告なく変更する可能性があります。



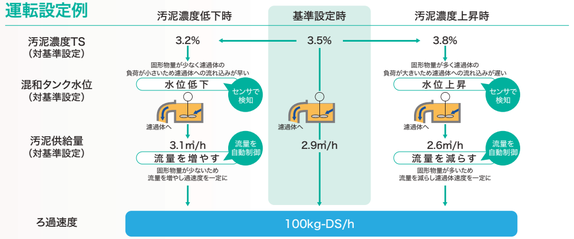
MWシリーズ構成範囲



濃度変動対応制御で安定的な運転を実現

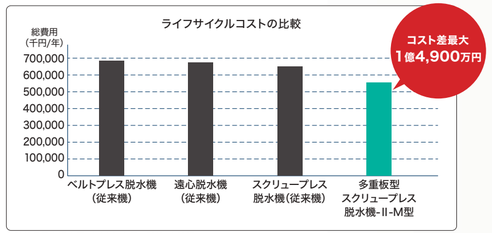
混合生汚泥の処理では汚泥濃度や繊維状物などの汚泥性状や季節的汚泥性状の変動が大きく、供給汚泥量・薬液使用量など、汚泥脱水機の運転調整が難しい場合があります。MWシリーズでは、汚泥脱水機への供給汚泥濃度が変動しても、濾過体への投入固形物量が一定となるよう凝集混和タンク内の水位変動をレベルセンサで検知し投入汚泥量を自動調整しています。これにより、濃度が変動しても、都度、運転設定を変更することなく含水率、濾過速度を一定とする運転を行うことができます。

運転設定例



ライフサイクルコストの縮減が可能

汚水処理規模にかかわらず、あらゆる下水処理施設でライフサイクルコストの縮減が可能です。



※計算日最大汚水量10,000㎥/日で試算。当社調べ。

消耗部品の交換は現地にて短期間で実施

脱水性能の維持と汚泥脱水機自体を長くご利用いただくために、運転時間に応じて定期的に濾過部を構成する消耗部品を交換する必要があります。濾過部は独立構造になっているため、消耗部品交換の際にも工場に持ち帰ることなく、現地にて短期間で交換が可能です。

VOLUTE™

CHECK!
こちらから処理フローの動画をご覧いただけます。




1 濃縮機付き凝集混和タンク
注入した高分子凝集剤と汚泥を撹拌混合し、ヴァルートに適したフロックを形成します。次いで、タンク内の濃縮機により汚泥を瞬時に濃縮します。


2 無機凝集剤後添加タンク
濃縮された汚泥に無機凝集剤を添加して、撹拌混合します。


3 シリンダーユニット
汚泥は、前段の濃縮部で更に濃縮され、後段の脱水部で内圧を高めて脱水します。


4 脱水ケーキ排出口
背圧板によって出口側から更に圧力が加わり、含水率72%以下(2液調質の場合)の脱水ケーキを排出します。

汚泥濃縮機ヴァルート™ VTシリーズ

VOLUTE™

常に安定した汚泥濃縮が可能



濃度1%以下の汚泥を4～6%程度に濃縮します。重力濃縮では得にくい、常に安定した濃縮汚泥を得ることが可能です。また、既設のベルトプレス脱水機の前段にVTシリーズを設置することで、脱水機に安定した濃縮汚泥を供給し、脱水機の能力を向上させることも可能です。

標準処理量・仕様一覧

型式	標準処理量 (m³/h)	機械寸法(mm)			総電力(kW)	重量(kg)	
		L	W	H		空	運転
VT-101	～1	1772	901	1031	0.3	160	290
VT-131	～3	1772	901	1031	0.3	170	300
VT-201	～10	2436	901	1737	1.15	360	680
VT-301	～30	3463	1320	2026	1.5	840	1650
VT-302	～60	3943	1461	2026	3.0	1350	2850
VT-303	～90	4198	1771	2026	4.45	1750	3900

※処理量は生物処理余剰汚泥TS0.4%を対象とした、高分子凝集剤添加による濃縮濃度4%時の標準値です。
※上記記載処理量は目安値です。汚泥性状によって異なりますので、機種選定の際には当社までお問い合わせください。
※上記データは標準仕様に基づいたデータであり、仕様は予告なく変更する可能性があります。最新の仕様については当社までお問い合わせください。

コンパクト設計

天井の低い建屋や設置面積が限られる場合など、他方式では設置をあきらめる様な場所にも設置可能です。設置場所を確保するための建屋増築に費用をかける必要がなく、既設濃縮機の入れ替えをご検討される際にも最適です。処理能力30m³/hのヴァルートとベルト式濃縮機を比較した場合、設置面積は約1/3です。

※ベルト式濃縮機の設置面積に凝集反応タンクと操作盤は含まれておりません。当社調べ。



集落排水施設向け

汚泥脱水機ヴァルート™ AWシリーズ

VOLUTE™

固形物回収率95%以上のロングセラーモデル

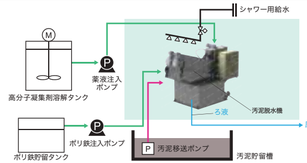
細部にわたる機能改良で熟成し、さらに使いやすくなった集落排水施設向けの定番モデルAWシリーズ。簡単設置、簡単オペレーション、簡単メンテナンスを実現する優れた機能性が多くのお客様から高い支持をいただいているロングセラーモデルです。



標準処理量・仕様一覧

型式	標準処理量 (kg-DS/h)	機械寸法(mm)			総電力 (kW)	重量(kg)	
		L	W	H		空	運転
AW-131	6～8	1757	700	1705	0.7	290	690
AW-132	12～16	1757	900	1705	0.8	355	855
AW-133	18～24	1847	1100	1705	0.9	425	1075

※処理量は汚泥濃度TS0.2%～0.3%の場合に、ポリ鉄と両性高分子凝集剤添加による脱水ケーキ含水率83%時の標準値です。
※上記記載処理量は目安です。汚泥性状によって異なりますので、機種選定の際には当社までお問い合わせください。
※仕様は予告なく変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



AWシリーズ構成範囲

集落排水施設向け

汚泥脱水発酵システム デルコンポ DCシリーズ

Dell Compo®



CHECK!
こちらから処理フローの動画をご覧いただけます。

汚泥の地産地消を実現

1000～3000人槽対象の集落排水施設向けシステムで、含水率約99%の汚泥を含水率約40%の発酵汚泥にして排出します。水分調整のためのおがくずや稲わらなどの副資材を使用せずに、汚泥のみで発酵するため非常に経済的です。発酵汚泥は、肥料や土壌改良剤として農地や緑地に利用できます。

汚泥の地産地消

1996年、当社は業界に先駆け、省スペース・低コスト・高性能を実現したデルコンポの販売を開始しました。汚泥脱水機・乾燥機・発酵槽など必要な設備をすべてユニット化しており、処理場面積が限られている集落排水施設にも最適です。産業廃棄物として費用をかけて捨てられていた汚泥を汚泥肥料※として活用することで、汚泥処分費ゼロ「汚泥の地産地消」を実現します。発売以来、多くの農業・漁業集落排水施設にご採用いただいています。

※発酵汚泥を肥料として使用するには、各自治体への肥料登録が必要です。



標準処理量・仕様一覧

型式	標準処理量 (kg-DS/日)	機械寸法(mm)			総電力 (kW)	重量(t)	
		L	W	H		空	運転
DC-1000	～26	5587	2975	3790	10.5	5.0	7.5
DC-2000	～52	5587	2975	3790	16.2	5.0	7.5
DC-3000	～78	6690	2975	3920	25.6	6.0	8.0

※機械寸法は本体のみの寸法です。別体のベレッター、脱臭装置、貯留装置は機械寸法に含まれておりません。
※仕様は予告なく変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。



1 汚泥投入
含水率99%の汚泥を汚泥脱水機に投入します。



2 脱水ケーキ排出
汚泥脱水機から排出された含水率83%の脱水ケーキを連続的に乾燥機に投入します。



3 乾燥機
乾燥機のドラム内の温度が約100℃になるようコントロールし、汚泥を発酵に適した水分に調整します。



4 発酵槽
発酵槽内を約70℃になるようコントロールし、攪拌翼で汚泥に十分に空気を含ませ発酵を促進します。



5 汚泥排出
3週間かけて発酵した含水率40%の発酵汚泥は、取り扱いやすいペレット状に形成、排出します。

汚泥乾燥機
SPシリーズ

電気熱源ロータリーキルン式

余剰汚泥や凝集沈殿汚泥を含水率10～40%程度の乾燥汚泥にし、廃棄汚泥量を減量することができます。脱水ケーキを直接熱源に当てることで高い熱効率を実現しました。独自の二重ドラム構造により十分な乾燥面積を確保しつつ、コンパクトな設計です。



標準処理量・仕様一覧

型式	標準処理量	機械寸法（mm）			総電力（kW）	重量（kg）
		L	W	H		
SP-2	～4kg-DS/h（～26.6kg-WET/h）	3141	940	900	14.65	310
SP-3	～5.5kg-DS/h（～36.6kg-WET/h）	3357	950	1009	19.5	350

※標準処理量は含水率83～85%の生物処理余剰汚泥の脱水汚泥を含水率40%に乾燥する場合の目安となります。
汚泥性状、希望含水率等によって処理量は異なりますので、機種選定の際には当社までお問い合わせください。
※寸法・重量・総電力などは、乾燥機単体の数値です。

コンパクト設計・簡単設置

汚泥脱水機ヴァルートと組み合わせることで、脱水機から排出される脱水ケーキを乾燥機に直接投入し、乾燥ケーキを連続的に排出します。貯留ホッパや大型の乾燥タンク、モーター等の大規模な運転設備は不要です。また、独自の二重ドラム構造で十分な乾燥面積を確保。コンパクトな設計で小規模施設にも対応でき、設置も非常に簡単です。

取り扱いが容易なフレーク状で排出

乾燥汚泥はフレーク状で連続的に排出されます。この形状は、乾燥汚泥の飛散も少なく、取り扱いが容易です。また、含水率の低い乾燥汚泥は脱水ケーキと比較し腐敗しづらいため、一時的な保管による悪臭が発生しにくいという特長があります。

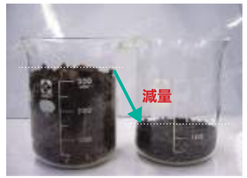


廃棄汚泥量を大幅削減

投入時含水率80%程度の脱水ケーキを含水率10～40%程度の乾燥汚泥にすることで、廃棄汚泥量を大幅に削減。汚泥処分費の削減が可能です。

汚泥の状態	含水率	汚泥ケーキ重量
原泥	99%	10000kg
凝縮原泥	96%	2500kg
脱水ケーキ	83%	588kg
乾燥汚泥	40%	167kg
	30%	143kg
	20%	125kg
	10%	111kg

※固形物量100kg-DSの試算



汚泥脱水乾燥システム構成例

ヴァルート脱水機と組み合わせることで、脱水乾燥処理システムの構築が可能です。

CHECK!
こちらから処理フローの動画をご覧いただけます。

処理プロセスフロー



① 脱水ケーキ排出口
汚泥脱水機から排出される含水率83%程度の脱水ケーキを連続的に乾燥機に投入します。



② 乾燥機内
乾燥機に送られた脱水ケーキは、乾燥ドラム内で徐々に乾燥していきます。



③ 乾燥ケーキ
含水率10～40%の乾燥汚泥を排出します。

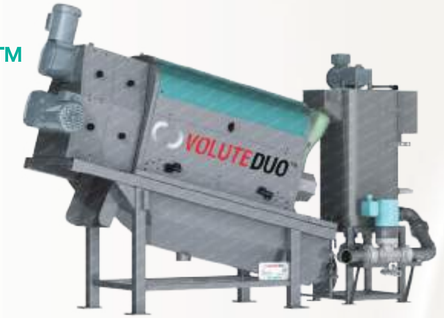


乾燥機

上水処理施設向け
汚泥脱水機ヴァルートデュオ™
HRシリーズ

ヴァルートの進化系モデル

ひとつの濾過体内にスクリューを2本搭載。汚泥の搬送力と圧縮力が向上し、繊維質や無機分の多い汚泥でも、安定的な脱水処理を実現しました。



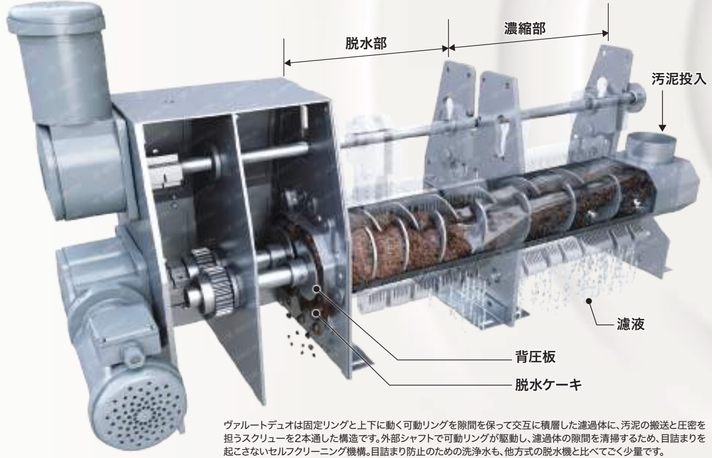
VOLUTEDUO™

CHECK!
こちらから処理フローの動画をご覧いただけます。

標準処理量・仕様一覧

型式	標準処理量（kg-DS/h）	機械寸法（mm）			総電力（kW）	重量（kg）	
		L	W	H		空	運転
HR-241	～12kg-DS/h	2116	895	1360	0.50	400	460
HR-381	～30kg-DS/h	3268	994	1550	1.20	1055	1445
HR-501	～60kg-DS/h	4408	1297	2284	1.95	1800	2300
HR-601	～120kg-DS/h	4918	1200	2612	3.05	2825	3625
HR-701	～200kg-DS/h	5356	1350	2587	3.75	3595	4695
HR-801	～220kg-DS/h	5948	1470	2901	4.8	5330	7100
HR-802	～240kg-DS/h	6500	2960	2901	8.9	10800	14060

※上記記載処理量は目安値です。汚泥性状によって異なりますので、機種選定の際には当社までお問い合わせください。
※上記データは標準仕様に基づいたデータであり、仕様は予告なく変更する可能性があります。最新の仕様については当社までお問い合わせください。



ヴァルートデュオは固定リングと上下に動く可動リングを隙間を保って交互に積層した濾過体に、汚泥の搬送と圧密を担うスクリューを2本通した構造です。外部シャフトで可動リングが駆動し、濾過体の隙間を清掃するため、目詰まりを起こさないセルフクリーニング機構。目詰まり防止のための洗浄水も、他方式の脱水機と比べてごく少量です。

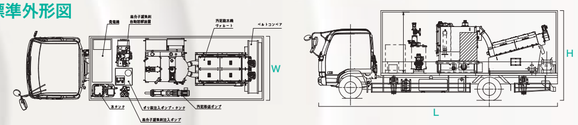
移動脱水車 MVシリーズ

複数個所の汚泥処理をこれ1台で緊急時の汚泥処理にも対応

巡回汚泥処理に必要なものすべてをパッケージにしました。複数個所それぞれに汚泥処理設備を整えるより、イニシャルコストを低く抑えることができます。機器レイアウトのアレンジも可能です。



標準外形図



標準処理量・仕様一覧

型式	ベース車両	脱水機処理量	車体寸法(mm)		
			L	W	H
MV-1	積載量4tクラス(車両総重量8t未満)	~20kg-DS/h (~2.0㎥/h)	7200	2280	3300
MV-2	積載量8tクラス(車両総重量11t未満)	~45kg-DS/h (~4.5㎥/h)	8885	2280	3300
MV-3	積載量8tクラス(車両総重量11t未満)	~90kg-DS/h (~9.0㎥/h)	8885	2280	3300

※上記記載の脱水機処理量は搭載する脱水機によって変わります。
※上記記載の脱水機処理量は汚泥濃度(TS)1.0%程度の余剰汚泥をポリ鉄と両性高分子凝集剤添加による脱水ケーキ含水率85%以下処理時の目安値です。
※上記データは標準仕様に基づいたデータであり、仕様は予告なく変更する可能性があります。最新の仕様については当社までお問い合わせください。
●仕様一覧に記載されていない脱水機処理量、仕様及びベース車両につきましても個別で相談を承ります。

標準付帯品

- 汚泥脱水機
- 高分子凝集剤自動溶解装置
- ポリ鉄注入装置
- 各種ポンプ類
- 脱水ケーキコンベア
- 発電機
- 電源ケーブル、ホース類

汚泥脱水機等との連動運転が可能

溶解液タンクと原液タンクの状態を常にセンサーで監視しコントロールしています。高分子凝集剤の不足、溶解水供給不良などが発生した場合、装置は自動停止し、外部機器にも警報信号を出力します。

排水処理設備の巡回汚泥脱水に最適

処理したい汚泥が離れた場所で複数個所ある場合、それぞれに汚泥処理設備を整えるよりイニシャルコストを低く抑えることができます。また、排水処理設備で汚泥処理機能が停止してしまうなど、緊急時の汚泥処理にもご利用いただけます。

汚泥脱水機のレンタル

- 既設脱水機の故障、修理などで代替機をレンタルしたい
- バキューム搬出する汚泥の処分費用を削減したい
- 一時的な汚泥増加に既設脱水機の能力が足りず困っている
- 沈殿池やピットに溜まった汚泥を引き抜いて処理したい

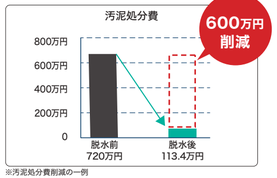
汚泥脱水機の緊急手配や汚泥処分費でお困りではありませんか?アムコンなら、最短1か月から全国どこでもレンタル可能。汚泥の薬品選定や設置場所の確認などを行い、最適な解決策をご提案します。

汚泥処分量をバキューム搬出の1/10~1/15に削減

バキューム車などで搬出・処理する汚泥のほとんどは水分のため、汚泥脱水機で脱水することで汚泥処分量を大幅に削減することができます。お客様の処理状況をご確認のうえ試算できますので、ぜひ一度ご相談ください。

■バキューム車による引き抜き条件
・汚泥量:720m³
・引き取り価格:10,000円/m³

■汚泥脱水機レンタル後の引き取り条件
・脱水後含水率:83%
・脱水ケーキ量:63.5t-wet
・引き取り価格:18,000円/t



※汚泥処分費削減の一例

レンタル期間

最短1か月からご利用いただけます。
※レンタル期間はご相談ください。

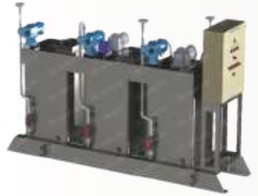
レンタル機設置例





高分子凝集剤自動溶解装置 DGシリーズ

液状高分子凝集剤・ポリ鉄用



汚泥脱水機をはじめ、あらゆる排水処理設備で使用する高分子凝集剤を指定溶解濃度に自動で溶解する装置です。溶解作業を自動化することで、大幅な作業の省力化を実現します。高分子凝集剤注入ポンプ、ポリ鉄注入ポンプ、ポリ鉄貯留タンクがすべてセットになっています。

仕様一覧

型式	高分子凝集剤溶解能力(L/h)	高分子凝集剤原液タンク貯留容量(L)	ポリ鉄貯留タンク貯留容量(L)	機器寸法(mm)			総電力(kW)	重量(kg)	
				L	W	H		空	運転
DG-40	300	80	80	1950	580	1310	0.75	245	545
DG-50	570	160	160	2400	600	1470	0.90	250	800

全自動運転による省力化

高分子凝集剤を原液タンクに補充しておけば、面倒な計量や溶解作業をすべて自動で行い、常に一定濃度の溶解液が得られます。また、手動での溶解作業に比べてママコ(ダマ)にならないので、薬品を無駄にしません。

汚泥脱水機等との連動運転が可能

溶解液タンクと原液タンクの状態を常にセンサーで監視しコントロールしています。高分子凝集剤の不足、溶解水供給不良などが発生した場合、装置は自動停止し、外部機器にも警報信号を出力します。

AFシリーズ

液状高分子凝集剤用

高分子凝集剤を指定溶解濃度に自動で溶解する装置です。高分子凝集剤のみ使用する場合は、こちらがおすすめです。



ハイブリッド Vシリーズ 高分子凝集剤

高分子凝集剤ハイブリッドVは、ヴァルートデュオ/ヴァルートのオフィシャルポリマーです。優れた凝集効果を持ち、汚泥脱水機、加圧浮上装置、凝集沈殿装置など、排水処理のあらゆる設備でご利用いただけます。イオン性はアニオン、カチオン、ノニオン、両性をラインナップ。エマルジョン、ディスパージョン、粉末品の三種類のタイプからお選びいただけます。

	エマルジョン	ディスパージョン	粉末品
製品写真			
溶解時間	5~30分	3~10分	1時間
使用希釈倍率	200~800倍(標準は400倍)	50~200倍(標準は100倍)	500~2000倍(標準は1000倍)
荷姿	10kg/箱・1tコンテナ	10kg/箱	10kg/袋・15kg/袋

ラインナップ(抜粋)

タイプ	品番	主成分	イオン性
エマルジョン	HB-6055	ポリアクリルアミド系	中アニオン
	HB-6080	ポリアクリルアミド系	強アニオン
	HB-7100	ポリアクリル酸エステル系	中カチオン
	HB-7175	ポリアクリル酸エステル系	強カチオン
	HB-8042	ポリアクリル酸エステル系	両性
	HB-8045	ポリアクリル酸エステル系	両性
	優れた溶解性が特長で、粉末品の1/6の時間で溶解するため短時間で使用が可能です。ママコ(ダマ)ができにくく、無駄なく均一な凝集剤を得ることができます。空気中への拡散による吸い込みの心配がなく、取扱いのしやすさという点でも優れています。		
ディスパージョン	HD-7310	ポリアクリル酸エステル系	強カチオン
	HD-7320	ポリアクリル酸エステル系	カチオン
粉末品	HD-7330	ポリアクリル酸エステル系	カチオン
	HD-7340	ポリアクリル酸エステル系	カチオン
	HD-9310	ポリアクリルアミド系	ノニオン
	HF-6520	ポリアクリルアミド系	弱アニオン
	HF-6540	ポリアクリルアミド系	中アニオン
	HF-7510	ポリアクリル酸エステル系	強カチオン
	HF-7550	ポリアクリル酸エステル系	弱カチオン
	HF-8530	ポリアクリル酸エステル系	両性
	HF-9510	ポリアクリルアミド系	ノニオン
	用途に合わせて、豊富なラインナップをご用意しております。		

アムコン株式会社

本　　社 ● 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1926
TEL:045-540-8585 ／ FAX:045-540-8588

横 浜 工 場 ● 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町2350-5

関 西 営 業 所 ● 〒655-0046 兵庫県神戸市垂水区舞子台2-9-30-104
TEL:078-798-7963

札 幌 営 業 所 ● 〒064-0810 北海道札幌市中央区南十条西14-1-31

https://www.amcon.co.jp

アムコン株式会社

海外拠点

中　　国 ● 安尼康(福建)環保設備有限公司　www.amcon-china.com
〒350314 福建省福清市元洪投資区元海三路
TEL:+86-591-85267288

チ ェ コ ● AMCON Europe s.r.o.　www.amcon-eu.com
Za Trati 207, 252 19 Chrastany,
Praha-zapad, Czech Republic
TEL:+420-211-150125

イ ン ド ● AMCON-SBS INDIA PRIVATE LIMITED
C-45, Electronic Sadan-1, TTC Industrial Area,
MIDC Mahape, Navi Mumbai-400710, India
TEL:+91-22-27610797

フィリピン事務所 ● AMCON PHILIPPINE REPRESENTATIVE OFFICE

2026.05